

## イギリス公共図書館アイデアストアにおける子育て支援 －社会的包摂の視点から－

土屋 深優

社会的排除とは様々な不利要因によって人々が社会から排除されていく過程及び状態を指す。また、社会的排除の対語及び対策として社会的包摂という概念がある。イギリスではブレア政権において、社会的排除対策室を中心とした社会的包摂政策が実施された。その際、社会的包摂政策は就労支援を重視したものであったが、就労が困難な人々には非就労支援が必要となる。社会的包摂政策を実施する上で、公共図書館は全ての人がアクセスできるという点及び就労支援・非就労支援を一括して提供できるという点において適した公的施設だといえる。

本研究では社会的包摂における公共図書館の役割を検討すること及び公共図書館の子育て支援が、社会的包摂において果たす役割を検討することを目的とする。事例として、イギリスのアイデアストアをとりあげた。アイデアストアはロンドン・タワーハムレッツ区の新構想図書館であり、社会的排除状態にある住民に対して幅広いサービスを提供している。研究方法として、図書館の計画書、議会の議事録、統計資料等を対象とした文献調査を行うと共に、アイデアストアにおいて家族向けサービスの参与観察、副統括責任者へのインタビュー調査を行った。

調査の結果、第一の目的については、公共図書館では教育と教育に伴う就労支援、子育て支援、人とのつながり作りが目指されていることが分かった。特に、人とのつながりを作る際、公共図書館は場としても、きっかけとなるイベント等に参加する上でも大変適した場である。

第二の目的に関しては、公共図書館における子育て支援は幼児教育と人とのつながり作りを中心として行われることが明らかになった。しかし、主なサービス対象は児童に限定されており、親を中心としたサービスはほとんど提供されていない。子育て支援を通して社会的包摂を行うには親子両方を支援することが必要である。また、職員の子育て支援に関する意識はそれぞれ異なっており、職員研修等を通して子育て支援の重要性や、当該公共図書館における子育て支援への意識を統一する必要があると考えた。

以上のように、公共図書館における子育て支援を社会的包摂の視点から検討した。公共図書館における子育て支援は幼児教育や親子の社会参加、人とのつながり作りを提供し、社会的包摂に貢献できると考えられる。ただし、重要なことは公共図書館が地域のニーズに沿ったサービスを提供することであり、公共図書館による社会的包摂サービスを提供するには、地域の特性や利用者の調査が不可欠である。

(指導教員 溝上智恵子)